

〈地域交流会記録〉

(平成30年度)

テーマ：「高齢者の交通安全について～無症候性大脳白質病変との関連～」

日時：2018年8月3日（金）13時30分受付、14時～16時55分

場所：高知工科大学 永国寺キャンパス教育研究棟 3階 A326（参加者総数 15名）

司会：山口 直範氏（大阪国際大学人間科学部）、話題提供者：朴 啓彰氏（高知工科大学地域交通医学・社会脳研究室客員教授）、中川 善典氏（高知工科大学経済マネジメント学群准教授）蓮花 一己氏（帝塚山大学学長、心理学部教授）

コメンテーター：東 正訓（追手門学院大学心理学部）

よさこい祭りを前にした高知市での地域交流会であった。到着すると、すでに朴、中川両先生がドリンクバーつきの会場設営まで済ませて下さっていて大変恐縮した。

最初に朴先生から『白質病変と危険運転行動との関係』と題して、話題提供をいただいた。脳の白質病変の容量の個人差が交通事故に関わることを MRI 画像診断による大規模データで明らかにされた。白質は神経線維と微細血管網からなる。加齢・喫煙・高血圧などの生活習慣病によって生じた白質病変（毛細血管の消失によってできた細胞外間隙）は、脳神経系ネットワークの情報伝達を阻害し、認知機能障害や認知症のリスク要因となる。軽度白質病変の健常中年における CRT 運転適性検査によって測られた運転機能への影響を検証したところ、白質病変ドライバーはマルチタスクが苦手となり、アクセル・ブレーキ反応や側方警戒反応等が低下するために交差点事故をおこしやすかった。実車実験によればハンドル操作も滑らかではなかった。朴先生は脳の健康と危険運転のリスクファクターとして高血圧を強調され、参加者らは熱心に耳を傾け、質問を行っていた。高齢者講習に脳ドックによる健康チェックを導入すれば、高齢ドライバーの個人差に対応でき、健康寿命と運転寿命の同時延伸化もはかれるということであった。

次に中川先生から『高齢歩行者の self-regulation failure と事故発生との関係について～インタビュー調査に基づく知見～』と題する報告をいただいた。高齢者の「自己制御の失敗」として「知っていてもやってしまう間違い」は何かを検討された。収集事例ごとの認知マップを作成し、構造的類似点や相違点から諸事例を分類された。例えば「歩く速度が遅いことを自覚している高齢女性はバス停に向かう際に信号付き交差点をいつも渡っていた。しかし、事故に遭った時は、いつも渡る信号に向かう途中、信号がすでに青になっているのを見て、青信号のう

〈Records of the Meeting〉 2018 Meeting with Researchers Lived Local Area

ちにたどり着き、渡りきれないと考え、通過車両がないことを確認して区画途中で横断を始めた。歩行スピードが遅く、渡りきれない内に走ってきたバイクと衝突した」という事例があった。いつもしていることをせず、それ以外のことをつい実行してしまう心理機構に興味が引かれた。筆者は安全横断習慣以前に形成された乱横断習慣を環境刺激が自動的に起動したのではないかと考えた。紹介された文献を帰宅後読了し、有益な視点が得られた。

最後に、蓮花先生から『高齢者の軽微な認知機能障害は運転に影響するか』と題して話題提供をいただいた。認知症患者は健常高齢者と比べ、事故率が高く運転能力が低い。しかし、軽度認知障害（MCI）の高齢者は運転が可能である。事故統計に基づき、高齢者の事故は本当に多いと言えるのかを検討された。事故総数に占める高齢者の比率が上昇傾向にあるが、超高齢社会の日本では、高齢者が増加傾向であるから当然である。高齢者が特に危険ということではない。若者よりも事故は少なく、壮年よりは多い。高齢者全体では事故率低下傾向にある。

高齢者は交差点で止まったの判断が苦手な為、出会いがしら事故が多い。交差点、一時停止をしないなどの傾向がある。確認行動が少ない傾向があり、高速道路の分合流の確認をしないため、料金所での車両接触事故が多い。自己評価が高いが、指導員評価が低く、自分の運転能力を過信する。認知機能検査や白質病変レベルと運転技能の得点との有意な相関から、認知能力が低下すると運転パフォーマンスが下がることが明らかにされた。しかし、軽度認知障害の状態は運転が可能であった。

高齢者の免許返納を安易に推進せず、リハビリ、教習所などの指導、運転支援技術を利用した安全運転サポート車限定の運転免許を導入し、過疎地での生活手段を奪わず、社会参加を制限しない取組が望まれるとされた。

アルコールによる脳へのダメージを緩和する朴先生考案のドリンクが休憩中にふるまわれ、全員、意気揚々と懇親会に臨み、お酒も交流も大いに進んだのであった。



(記録：追手門学院大学心理学部 東 正訓)